

工事データをバックアップ

岩崎など

複合機中核に一元管理

電子書類共有システム



盗難や紛失などから貴重な工事データを守る「電子書類共有システム」の複合機(MFP)

岩崎(本社・札幌)とソフトウェア開発メーカーのフォーディーネットワークス(同・東京)は共同で、建設現場の工事データをクラウドサーバーにバックアップする「電子書類共有システム」を開発し、販売を始めた。災害や事件、事故などに遭遇し、貴重なデータを失う危険を防ぐ。

現場の図面や写真、図核となり、データを一元連資料などをパソコンで管理する。夜間になると集中管理する現在、データの保管や取り扱いが責任者の負担となっている。現場事務所は地震や津波、火災、盗難などの潜在的リスクが高く、データ喪失の危険が常に付きまとうからだ。電子書類共有システムは、コピーやFAXなどは、コピーやFAXなどの複合機(MFP)が中核となり、データを一元管理する。夜間になると自動的にデータを岩崎のクラウドサーバーに送信し、デジタルカメラで撮影した写真データなど每日の新しい情報が保たれる仕組み。クラウドが保全した情報は、外出先や本社からのアクセスが可能で、本社と現場の情報共有に役立てられる。必要に応じて

て編集、修正、削除した情報をクラウドに送っておけば、夜の自動送信時にMFPにも追加情報が送られる。データが更新される。岩崎は、札幌市内で12、13日に開催した第45回ロータリーユニシヨンプニア2012で初めて同システムを発表した。道内の販売を始めるとともに、全国展開も視野に入れていく。料金はMFPのレンタル料とクラウド利用料などが掛かる。古口聡社長は「現場では災害や事件、事故に遭う危険もあるが、担当者がデータやハードディスクを持ち帰って紛失するケースも多い。当社には年間4、5件の割合で喪失の相談があり、システム開発のきっかけになった」と話している。

篠田興業

サイレン音で注意喚起

メロディーロード技術を応用 交通事故防止システム商品化

【根室】篠田興業(本社・標準)は、車両が通ると音楽を奏でるメロディーロードの特許技術を生かし、パトカーのサイ

道路の舗装路面に刻み込んだ溝の上を車が通過することで摩擦音が鳴る効果を利用して音楽や音声が聞こえるようにした技術

回転灯、注意看板もセツトで施工費は300万円〜350万円。道路脇でサイレンが鳴る従来型に比べ、足元から音が追い掛



め、よりの臨場感があり効果が期待できるという。篠田静男社長は「メロディーロードはもとも安全運転啓発を目的としたもので、この商品が完成形ともいえる」と話し、全国の自治体や道路管理者などへの売り込みを図っている。

問い合わせは同社、電話0153(82)21

た耐久性を持つ。アタッチメント用油圧ホースの露出を抑えた新形状のアウターブームと、優れたメンテナンス性を確保している。

従来機から好評だったアタッチメント用の油圧4回路や、高所からの操作が可能な。三菱日立ホームエレベーター(本社・岐阜県美濃市)は、安全性を高め、近赤外線や「スイト」を17日発売する。在宅介護など家庭で車椅子を利用する場合を

安全性能向上 挟まれ事故防止機能

三菱日立ホームエレベーター

200センチの椅子にも対応し、乗降口の近赤外線や「スイト」を17日発売する。在宅介護など家庭で車椅子を利用する場合を

144施設を紹介
雪氷熱エネルギー
活用事例集発刊

道経産局

北海道経済産業局は、全国144施設の雪氷熱エネルギー導入事例を紹介する「COOL ENERGY 5(雪氷熱エネルギー活用事例集5)」(A4判、79頁)を作成した。写真。100部

用意し、配布している。9道県岩手、秋田、新潟、岐阜、雪氷熱活用施設のか、所在地規模、貯蔵

能は標準装備。冬季のクレーン作業で威力を発揮するシートヒーターも備えている。5.5トから10ト車までの架装が対象。価格は11まで。590万円年間100回指している。問い合わせ電話03(2)11まで。